



連日、警察、防犯協会、見守り隊、スクールガードリーダー、PTA役員等の方々に、子供たちの登下校の見守りをしていただき、ありがとうございます。また、複数の地域の方から、「校長先生、大変だけど、私たちにできることはあったら教えてください。」というような声をかけていただき、大変心強く思っています。多くの方々に見守られていることが、どれほど重要でありがたいことか、このような危機に遭ったときに強く感じます。学校を代表して、心からお礼申し上げます。

## 【 学校訪問研修（9月14日） 】

- 昨日、西部教育事務所、南砺市教育委員会から多くの方が来校され、授業参観に続き、授業における教師の働きかけや学校運営に関するご指導をしていただきました。どの学級も落ち着いて学習に取り組み、担任と子供たちで授業を創り上げる姿を見ることができました。
- 指導主事の先生からいただいた井波小学校のよさを、概略として少し紹介します。

- ・「いいね。」「すごいね。」などという言葉がけをし、子供に寄り添う教師の姿がよい
- ・「もう少し詳しく言って。」「よいところって、どんなふうによいと思うの？」など問いかけ、話をコーディネートする教師の姿がよい。
- ・タブレット端末を使って、子供に自己決定させていることがよい。
- ・変更した行動目標は、子供にとって分かりやすく、実行できるものである。
- ・「問いかけよ」「聴け」「つなげ」という、「授業における教師の心構え3か条」をやろうという教師の姿勢が見えた。

- もちろん課題もあります。また、「聴き合う授業」になっていたかどうか、やや見直しをせざるを得ないこともあります。課題はあって当然ですが、課題にどう挑戦していくかが勝負です。
- 本校の教職員は、私の目から見ても、実践モラルが高いです。また、授業改善を目指し、自己研鑽をしようという意欲もあります。これがあれば、子供を育てる授業が実現できます。井波小学校の目指す授業は、「子供が、他を契機に自己を見つめ、次の歩み出しができる授業」です。言い換えるならば、「子供の思考を大切にする授業」「子供が育つ授業」です。
- 私の教員としての原点である井波小学校の子供と教職員が力を高め、今後の人生が豊かになることを祈って、今後も校長としてできることを取り組んでいきたいと改めて決意しています。

